

クラブ訪問

296

「突破されないディフェンスを」

成田ジュニアスターズ

私たち「成田ジュニアスターズ」は、小学2～6年生の17人で、木・土・日曜日と祝日に成田小学校や美郷台小学校の体育館で活動しているミニバスケットボールクラブです。

練習では、体の周りで8の字にボールを動かすボールハンドリングなどの基礎練習やパス回し、ディフェンスやシュートを行います。

私たちは特にディフェンスに力を入れています。

8月に行われた試合では、ディフェンスを突破されて、点を取られてしまうことが多くありました。どうしても腰の位置が高くなってしまい、簡単に横を抜かれてしまったからです。そのため、突破されないように低い姿勢ですぐに動けるようにする練習をしています。また、抜かれても相手に追い付ける基礎体力も強化しています。

コーチからは「できなくてもいい。でも、やる前から諦めるのは良くない」と言われています。どんなに負けそうな時でも、最後まで諦めずにボールを追うことでパスカットできる機会やシュートを打てるチャンスが増えるからです。

目標は県大会に出場すること。昨年は人数が少なくて出られなかったのですが、今年は出場できるようにチーム一丸となって、まずは予選突破を目指します。



全身の力を使ってシュート



プレッシャーをかける

鈴木 柊 キャプテン (6年生)

プロバスケットボールの八村塁選手が3ポイントシュートを打っている姿をテレビで見て、自分もやってみたいと思って入団しました。



なかまと一緒に

294

「音に感じる難しさと奥深さ」

三弦会



メンバー全員で合奏



弦の押さえ方を確認しながら



愛用の三味線と共に

私たち「三弦会」は、第1・3水曜日に大栄公民館で活動している三味線のサークルです。

どこか懐かしさを感じさせる三味線の音には、澄んだ響きと柔らかさがあります。曲によっても印象が変わり、落ち着いたものもあれば、軽やかで弾むようなものもあります。

三味線は、指で押さえる弦の位置によって音が変わります。位置が少しずれるだけで音の高さが変わってしまうため、思うような音を出すには、位置の感覚を少しずつ身に付けていく必要があります。さらに、きれいな音を出すには、指の腹ではなく爪を垂直に立てて弦を押さえなければならず、そうした繊細な違いがそのまま音に表れることに難しさがあり、同時に面白さや奥深さも感じる部分です。

普段の活動では合奏を繰り返します。難しい箇所の演奏では、経験豊富なメンバーにアドバイスを受けながら練習を重ね、上達を図っています。すぐに思うような音が出るわけではありませんが、繰り返し弾くうちに指も慣れ、音がそろってくると充実感を味わうことができます。音の出し方や節の取り方を確かめ合いながら、少しずつ音がまとまっていく過程も面白さの一つです。

普段の練習の成果を披露する場として、市民文化祭や大栄ふるさとふれあいまつりなどがあります。演奏を聴いてくれる人がいることは活動の大きな励みです。ステージでの演奏を想定すると練習に熱が入ります。

これからも三味線の魅力を味わいながら、活動を続けていきたいです。

スクスクのびのび

558



しまだ 島田 すずちゃん(左)・さやちゃん(右)

妹のすずは、姉のさやの歌を聴いて、毎日笑顔で過ごしています◎



いとう あお 伊藤 碧くん

おもちゃで遊べるようになったよ♪

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法
○応募先
○問い合わせ先

お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報メディア推進課へ。専用フォームからも応募できます
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報メディア推進課
koho@city.narita.chiba.jp(写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報メディア推進課 ☎20-1503



専用フォーム